

神のことば: 尽きることのない源

パート1

イエスは、私たちを励ますために、2つのフレーズを用いました。詩篇を引用してイエスはこう言っています。

「もし、神のことばを受けた人々を、神々と呼んだとすれば、聖書は廃棄されるものではないから・・・」、

そう、このヨハネ 10:35 でイエスは、それまでほとんどの神の民が用いていた聖書に2つの肩書を使うことを選びました。「神のことば」と「聖書」です。それらは、まったく同じ意味ではありません。イエスが聖書を「神のことば」と呼ぶとき、それは、神から直接来たメッセージという意味です。それは、多くの著者によって書かれ、様々な方法によりますが、すべての源は聖書で、究極的な源は神です。それが、神のことば、神のメッセージであり、神が私たちに知ってほしいことなのです。

しかし、「聖書」という単語は、書かれた物というのが文字通りの意味です。それには限りがあります。神は、聖書には書かれていない、とても多くのことばを語られました。しかし、聖書の中には、神が私たちの益のために書いて記録するために選ばれたことばがあるのです。そして、私たちは、聖書にあるすべてのことは、人の益のためであることを常に覚えておく必要があります。聖書は、私たちが人生の中で最善の道を見出し、神とともにこの世から永遠へと安全な歩みをするために、知る必要のあるすべてがあるのです。

ですから、今日私は、神のことばが行なう様々な側面をみなさんに簡単にお話ししましょう。時間がかかりすぎるので、一つ一つを長々と話したくありません。神がこの言葉を通して私たちに役立つようにしてくださったすべてを理解するように、みなさんの意識を目覚めさせたいと思います。

私自身の背景のゆえに、神のことばが成すことは私にとって非常に現実的です。私はケンブリッジのキングス・カレッジで古代・現代哲学の特別研究員となりました。私の職業は、哲学者でした。私が哲学者になったのは、人生の問題の答えを探し求めていたからです。心から、人生の意味と目的を見出したかったのです。私ははっきりとはわかりませんが、「人生の意味とは何か。」という疑問を持って生まれてきたと思います。10代になる前、すでにその答えを探していました。私は、チャペル出席が義務付けられていた学校に通っていたので、10年間イギリスで教会に出席していました。そして、聖書から聞いたことに感銘を受けましたが、キリスト教がその答えを持っているとは思っていませんでした。ですから、ケンブリッジ大学に入ってから、教会に行くことはそれまでにすべて終えた、もう行かないことを喜ぼうと決めて、毎日はチャペルに行かなくなりました。別の場所に人生の意味を探し求めていたのです。そして、私にとって自然だと思えたのが哲学でした。私は研究員になり、やがて哲学の教授になりました。

私は、教育の経歴においては非常に成功していましたが、答えは見つかっていませんでした。その後第二次世界大戦が勃発し、自分がイギリス軍に徴兵されることを知り、どこで人生が終わるのか知る由もありませんでした。軍に入る時は、多くの荷物を持って行くことはできず、一つの黒い円柱のバッグにすべてを入れて運ばなければなりません。ほとんどの兵士にとっては問題ではありませんでしたが、私にとっては、どの本を持って行くか悩みました。そこで、私はどの本よりも、最終的に世界中でより広く読まれ、人類の歴史に影響を与えている一冊に決めました。それは、

一種の哲学の本のようであるのに、私はその中身をあまり知らないと思ったのです。その本は何だと思いませんか。聖書です。そして、私の予想はまったく正しかったのです。文句なしに、それは人類の全歴史において最も影響ある本です。私は、聖書について何も知らない人が、教養があるとと言われることに対して疑問に思います。

ですから、私は新しい黒い聖書を買いました。私は聖書に黒以外の色があると知りませんでした。私の宗教のイメージは基本的に黒です。私はどのように聖書を読もうかと考え、最初から、最後まで通して読もうと決めました。ですから、軍での初日、私は創世記1章から読み始めました。私はそのバラック小屋で騒ぎを引き起こしました。そこには他に24人の新兵がおり、彼らは聖書を読む私を見てひそひそ話し始めました。彼らは戸惑っているようでした。

問題は、私が聖書を読んでいない時は、ちゃんと聖書を読んでいる人のように、まったく生きていなかったことです。かなり真逆の、非常に明白な罪を犯していました。

つまり、私は聖書を読んでいながら、まさに不信心な生活をしていました。聖書は私がまったく理解できないと思った初めての本でした。私は、ギリシャ語、ラテン語、ロシア語、フランス語など、様々な著者の本を読み、著者の言いたいこと、彼の主張の正しいこと、間違っていることが常に把握できました。しかし、聖書は、何について言っているのか、まったくわかりませんでした。どのように分類するべきかさえわかりませんでした。詩なのか、歴史なのか、神話なのか、それとも哲学的なのか。どの分類にも当てはまるように思えませんでした。

そして9か月後、聖書の著者は、ある日の真夜中ごろ、軍のバラック小屋でご自身を私に素晴らしく啓示してくださいました。主イエス・キリストが決して疑うことのない2つのことをもって、その夜からご自身を啓示してくださったのです。1、イエス・キリストは生きておられること、2、聖書は真実であり、価値ある、最新の書物であることです。イエスに出会ったその瞬間、聖書は完全な意味を成しました。葛藤する時間は長くなく、その日受け入れました。

それが、私の個人的な経験と背景です。ですから、私は聖書をとても高く評価しているのです。そして、その日以来約50年、私は聖書を学び、様々な国の人々、様々な宗教の背景を持った人々、様々な文化の人々に聖書を分かち合い、教える特権にあずかってきています。そして、聖書は私の知る限り、すべての国々、すべての文化のあらゆる人々に語ることでできる唯一の本であると気づきました。ですから、私は聖書を恥としません。私は聖書を信じていることを決して恥ずかしく思いません。クリスチャンは、聖書にある自分たちの信仰を恥じるべきではありません。知的に劣っていると感じてはいけません。私は哲学の専門家でした。そして、私は人の起源や宇宙の起源などあらゆることについてのあらゆる理論を学びました。しかし、私の判断では、聖書は、私が学んだ本の中で最も論理的な本だと言わなければなりません。その論理は完璧です。

あなたが、完璧な論理の例を望むなら、ローマ人への手紙を読んでください。それは傑作だと私は思います。人間によるペンで、パウロのローマ人への手紙に匹敵する論理的で完璧なことを書いたものはありません。ですから、あなたが学生であれ、何であれ、あなたが聖書を信じているということで劣等感を覚えなさい。それは、劣等のしるしではなく、良識のしるしなのです。

さて、聖書があなたにどのように働くかというテーマで始めましょう。まず、聖書についてのいくつかの一般的な声明

を挙げましょう。詩篇 33:6 はこう言っています。

「主のことばによって、天は造られた。天の万象もすべて、御口のいづきによって。」

聖書にある、息という言葉は、ヘブル語では霊で、そのイメージは、神の霊が神のことばでやって来るというものです。私たちが言葉を話すときに口から息が出るのと同じように、神がことばを語られるとき、神の霊が伴ってきます。そして、それは、どのように宇宙全体が創造され、いのちを持つようになったかを私たちに教えてくれます。それは、複雑ではなく、主のことばと主の霊によってもたらされました。全被造物には、神の2つの動作主があります。創世記の創造の記録を読むと、まったくその通りであるわかるでしょう。これは、私があなたにどうしても言いたい、驚くべき考えです。あなたが聖書を読んで、それを吸収し、あなたの中に働かせようとするとき、全能の神の創造の力すべてがあなたに働くのです。なぜなら、神はご自身のことばと霊だけで宇宙を創造されたからです。そして、その同じことば、同じ霊が、私たちが聖書を読むときに同様に働くのです。ですから、聖書があなたの人生になしうることに決して制限を設けないでください。外に出て、星を見、太陽を見、海を見、山々を見て、驚異的な神の創造の力の現れを見て、それらすべてを創られた、その同じ力が聖書を読むときに自分にも働いていると自分に言い聞かせてください。

そして、新約聖書の I テサロニケ 2:13 で、パウロは、新しく生みだされたテサロニケの教会へ書いています。パウロは自分のミニストリーのインパクトがどれほど力強く働いているかを思い、それらのクリスチャンのゆえに神に感謝しています。こう書いています。

「こういうわけで、私たちとしてもまた、絶えず神に感謝しています。あなたがたは、私たちから神の使信のことばを受けたとき、それを人間のことばとしてではなく、事実どおりに神のことばとして受け入れてくれたからです。この神のことばは、信じているあなたがたのうちに働いているのです。」

パウロは、これは人間の知恵によるものではないことを強調しています。これは、神のことばであり、神が私たちに語っておられるということ。

しかし、私たちが信仰でそれを受け取るまでは、私たちのうちに完全に働くことはありません。信じる者に効果的に働くのです。不信仰は神のことばの効果締め出してしまいます。しかし、私たちが信仰によって心を開くなら、私たちがそれを信じるなら、効果的に働くのです。そして、今日みなさんに、信仰によって受け取るなら、神のことばがあなたのうちに生み出す効果のいくつかをお話したいと思います。

そして、ヘブル人への手紙で、著者にはまた、特定の言い方があります。第一に、旧約聖書で神の民イスラエルについて、大いなるしるしと不思議によって超自然的にエジプトからどのように連れ出されたかについて語っています。しかし、不信仰により、彼らは神が約束された地に決して入ることはありませんでした。そして、ヘブル書の著者は 4:2 でイスラエルについてこう言っています。

「福音を説き聞かされていることは、私たちも彼らと同じなのです。ところが、その聞いたみことばも、彼らには益になりませんでした。みことばが、それを聞いた人たちに、信仰によって、結びつけられなかったからです。」

彼らは神のこぼを聞きましたか、神が意図された働きが彼らのうちに起こりませんでした。信仰に結びつけられなかったので、祝福の結果をもたらさなかったのです。私たちが神のこぼを信仰で結びつけるときにのみ、神が意図されたものが私たちのうちに働くのです。もし、あなたが今、信仰によって神のこぼを受け取ることができるように願うけれど、自分に果たして信仰があるかどうかわからないと言うなら、神のこぼについての素晴らしいことの一つは、信仰を創り出すことであることをお伝えしたいです。後でその時間を持ちましょう。

もう一つ、ヘブル 4:12 で神のこぼについての一般的なことです。

「神のこぼは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。」

神のこぼについての素晴らしい事実のリストです。それは生きています。死んではいません。力があります。どんな両刃の剣よりも鋭いです。あるいは、現代的な言葉で言うなら、それは、医者を使うメスよりも鋭いのです。メスが刺し通すことができないところも、刺し通すことができます。関節を骨髄から切り離すことができます。それは、どんな精神科医の探り出しよりも鋭いのです。それは、私たちの内側の最も密接な霊とたましいをも切り離すことができます。

そして、著者は、心の考えやはかりごとを判別すると言っています。ある人がこう言っているのを聞いたことがあります。「あなたが聖書を読んでいるとき、聖書もあなたを読んでいることを覚えておきなさい。」そして、ある意味、私たちは聖書に畏れをもって近づく必要があるのです。なぜなら、自分でさえ知らなかった、私たちのうちにあることを明らかにするからです。神は常に、あわれみによってそれをしてくださいます。私たちは人生で本当に成功することを妨げる問題を持っているかもしれません。その問題に気づいてすらいないかもしれません。しかし、あなたが聖書を読もうとするとき、あなたを探っていたら、そのメスが人間のメスが届くことのできないところに真っすぐに入り、あなたが知らなかった問題を指摘していただきましょう。

たとえば、率直に言いますが、私たちのほとんどが、高慢の問題を持っていますが、多くの人は、自分の高慢に気づいていません。しかし、あなたが聖書のために時間を取ると、遅かれ早かれ、あなたの人生に、神があなたに願っておられることをあなたに行なう前に、取り扱われなければならない高慢の根が隠されていることに気づき始めるでしょう。

さて、聖書が生み出す特定の結果のいくつかについてお話したいと思います。私は聖書から話していますが、多くの場合、個人的な経験からお話しています。私が理論を説くことは稀です。私がメッセージのほとんどが、私が経験したことからのもので、そして、神が真理の新しい領域に来させたいとき、通常、神はいくつかの経験を私に与え、その真理の私を直面させる状況に導きます。ですから、私が今お話していることは理論ではありません。

最初に、すでに間接的に言いましたが、聖書について言いたいことは、もしあなたが信仰を持っていないなら、信仰を得ることができます。これは、私自身の人生でのカギとなる聖句です。ローマ 10:17。

「そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。」

信仰はどのように来ますか。聞くことからです。何を聞くのですか。神のことばです。さて、私はその聖句を研究しました。なぜ、これが私にとって非常に現実的なのかをお話しましょう。私は主に出会い、聖霊のバプテスマを受けた後、まだイギリス軍におり、私は中東へ派遣されました。私は北アフリカの砂漠で3年間過ごしました。その期間に私は医者がかもう治らないという状態の病気になりました。ですから、実際、丸一年病院で過ごしたのです。私とその病院のベッドに横たわっているとき、私は神を知っており、聖霊のバプテスマにあずかっており、聖書を読んでいましたが、私に信仰があるなら、神は癒してくださると自分に言い続けていました。しかし、次にいつも私が言っていたことは、でも、私には信仰がない、でした。それを口にすると、私は、ジョン・バニヤンが『天路歷程』の中で、「絶望の沼」と呼んでいる、長く、深い、絶望の暗い谷にいました。そして、私はその谷から抜け出す道がないので、何週間も憂鬱と絶望の状態にありました。

そして、輝かしい一筋の光が暗闇に差し込みました。それがローマ 10:17から来たのです。

「そのように、信仰は、聞くことから始まり・・・」

その言葉を読んだとき、私は「これだ!」、と言いました。信仰がなければ、得ることができます。その条件を満たす人はみな、信仰なしに生き続けることはできません。その条件とは何でしょうか。信仰は聞くことから始まり、聞くことは神のことばによります。

そこに2つの段階があることを経験からお話します。あなたが神のことばを開いて、それを読み、黙想するとき、みことばは、あなたの人生で何よりも大切なものとなり、聞くことがやってきます。聞くこととは、あなたが神と二人きりになる一種の態度、姿勢です。他のものを締め出します。そして、もし、あなたが聞き続けるなら、信仰がやって来ます。それはプロセスなのです。すぐに起こるものではありません。最初に、神のことばがあり、あなたがそれを聞き、あなたの注意をそれに向け、あなたの心と思いを開き、あなた自身をみことばにゆだねます。聞くことから信仰が発展するのです。

あなたが、一日5分しか聖書を読まないなら、非常に小さな信仰を人生に建て上げるだけです。なぜなら、それには時間がかかるからです。しかし、価値はあります。世界の特定の地域については良く知りませんが、それほど違いはないと思っています。欧米のクリスチャンが、霊的な偉人になりたいと切に願うなら、あなたの人生で2つのものだけを交換する必要があります。それらを入れ替えるのです。もちろん、これはすべての人に当てはまるわけではありません。しかし、その入れ替える2つのものとは、あなたが聖書に費やす時間と、テレビの前で費やす時間です。ただ、それを入れ替えてみると、あなたは、人生に起こる変化に驚くでしょう。それは、全員に当てはまるわけではないと思いますが、時間がかかることですし、注意を要します。

私が、聞くことから来た信仰による癒しをどのように受けたかについて後でお話しましょう。なぜなら、私がどのように癒しを受けたかをお話するとき、それは聞くこととは、実際何であるかの完璧な例だからです。

次に、信仰から発展する神のことばがもたらす結果は、新しい人です。新しい人と古い人があります。新しい人は、信仰によって神のことばを受け取るとき、私たちの人生の中に生み出されるもので、私たちのうちにイエス・キリストのいのちを生み出します。古い人は、神から離れています。つまり、新しい人は神のことばのせいであり、神のことばの種から発展します。これをいくつかの聖句から見て行きましょう。ヤコブ 1:18 で、ヤコブはイエス・キリストの信者について言っています。

「父はみこころのままに、真理のことばをもって私たちをお生みになりました。私たちを、いわば被造物の初穂にするためなのです。」

このように、新しい誕生はあなたから始まるのではなく、神によって始まるのです。神のみこころが私たちを押し出し、私たちが心で受け取る真理のことばによって私たちを生み出されます。

ヨハネ 1:13 で、ヨハネは生まれ変わった人について言っています。

「この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってでもなく、ただ、神によって生まれたのである。」

新しい誕生は、私たちの思いではなく、神のみこころで始まります。そのことを明確に理解する必要があります。私たちは神が願われたので、信者とされています。そして、私たちは神のみこころに応答しなければなりません。第一の動機は神からのものです。神ご自身の御心が真理のことばによって私たちを生み出したのです。

そして、I ペテロ 1:23 で、ペテロはこのテーマを発展させてこう言っています。

「あなたがたが新しく生まれたのは、朽ちる種からではなく、朽ちない種からであり、生ける、いつまでも変わる事のない、神のことばによるのです。」

この新しいいのち、新しい人を生み出す種は、神のことばの種です。それは朽ちることのない種です。決して腐らず、変わることがなく、私たちが自然界で知っている種の変異や悪化のような影響を受けません。そして、種の性質は生み出すものの性質を決定づけます。あなたがリンゴの種をまくと、オレンジではなく、リンゴができます。ですから、神のことばの種の性質は、それから生まれて来る人生を決定づけます。それは朽ちない種ですので、どのようないのちを生み出しますか。朽ちないいのち、腐敗することのないいのちです。それは、神の種であるので神のいのちです。

そして、I ヨハネ 3:9 で、神のことばの種からの新しい誕生について、ヨハネはまたこう言っています。

「だれでも神から生まれた者は、罪を犯しません。なぜなら、神の種がその人のうちにとどまっているからです。その人は神から生まれたので、罪を犯すことができないのです。」

詳しくは説明しませんが、これは、生まれ変わったクリスチャンについて言っているものではありません。私を例にとりましょう。そうすれば誰も腹が立たないでしょう。私は1941年に新しく生まれました。それは、まったく現実で、力強く、今日まで続いています。しかし、それは私が1941年からまったく罪を犯さなかったということではありません。そうで

あったらいいですが、違います。それは、私が罪を犯すことができないという意味ではありません。事実、私が注意して、罪から離れているように祈ることに非常に意識を向けています。しかし、私の内に、罪を犯すことのできない性質、人格をもって生まれた新しい人がいます。朽ちない種から生まれたので、私は朽ちることのない者です。

私が対処しなければならないもう一つの性質は、キリストが私のうちに来てくださる前の、古い人と呼ばれる性質です。古い人は罪をどうすることもできない、それはまさに私の生まれつきの性質です。本来とても反抗的です。ですから、私たちが生まれ変わったクリスチャンであるなら、私たちが歩む人生は、新しい性質が私たちをコントロールすることによって決定づけられます。新しい人に統制されている限り、罪を犯さない人生を送るでしょう。しかし、古い人が戻って来て、住み始め、操作し始めると、避けられない結果、つまり罪となります。しかし、私たちには、私たちのうちに生まれた、朽ちない性質、それは罪を犯さない性質、純粹で聖い性質をもった、神のことばの種があるということを知らなければなりません。それはまさに、神ご自身の性質で、神のことばの種を通して与えられました。その性質は私たちを神の子どもとしてくれます。それは、神のことばから来るのです。

人間のレベルで考えてみましょう。人間の赤ちゃんが生まれると、何よりも必要なものは、適切な栄養でしょう。とても健康な赤ちゃんであっても、適切な栄養を摂らないなら、間もなくやせ始め、そのうちに死んでしまいます。それは、生まれ変わったクリスチャンにもまったく当てはまることです。あなたは生まれ変わったなら、内側に新しい性質があり、切に栄養を求める新しい人がいるのです。赤ちゃんは食べ物もらえないとき、どうしますか。泣きます。生まれ変わったクリスチャンの内側には、食べるができなければ、泣き始める何かがあるのです。

神のことばの素晴らしい点は、新しいいのちを生み出す種というだけでなく、それは、新しいいのちの栄養である食物であることです。これは、聖書に非常にはっきりと書かれています。ペテロの手紙第一に戻りましょう。最初の章でペテロは、朽ちない種から生まれた人について語っています。そして、2章を「ですから」で始め、このように続けています。聖書で「ですから」という言葉を見つけたとき、それがどうであるからなのかを見出す必要があります。この箇所「ですから」は、新しく生まれたゆえに、です。お分かりですか。あなたは生まれ変わった・・・

「ですから、あなたがたは、すべての悪意、すべてのごまかし、いろいろな偽善やねたみ、すべての悪口を捨てて、生まれたばかりの乳飲み子のように、純粹な、みことばの乳を慕い求めなさい。それによって成長し、救いを得るためです。」

つまり、神の新生児のための栄養とは何でしょうか。神のことばの純粹なミルクです。もし、生まれ変わったクリスチャンにその栄養を与えないなら、かなり確実に彼らが受け取った新しいいのちを失うでしょう。生まれ変わったなら、神のことばを定期的に摂取するために学ぶことが、何よりも急を要することです。そして、まず、ミルクから始めます。あなたは赤ちゃんに、肉は言うまでもなく、パンを与えることはできません。消化しやすいものが必要です。ですから、クリスチャンが生まれ変わったとき、基本的にはイザヤ書や伝道者の書を彼らに読ませるべきではありません。あるクリスチャンは、それにわくわくするかもしれませんが、私が、新しいクリスチャン、また求道者を扱っている人々に助言することは、最初に必要なものは、栄養、ふさわしい栄養であるということです。そして、一般的に新約聖書の3つの書を順番に読むように勧めます。これは、文化と背景のタイプにもよるでしょう。しかし、一般的にヨハネの福音書、使徒の働き、そしてローマ人への手紙を読むように勧めます。ある人々にとっては、消化しにくいかもしれませんが、一

一般的に言って、ヨハネの福音書は新約聖書で最初に読むのに素晴らしい部分であると思います。そして、遅かれ早かれ、あなたは使徒の働きに進む必要があります。なぜなら、使徒の働きは、教会がどのように機能することが意図されているかを描写しているからです。私たちは、教会が多くの場合、神の模範からかけ離れていることを認めなければなりません。神はご自身の模範を変えることはありません。そして、ローマ人への手紙ですが、それは特に私の哲学的背景の故かもしれません。しかし、クリスチャンはローマ書の具体的な真理を理解が必要となるときが来ると私は思います。ほとんどの聖書注解者は、福音書を理解したいなら、読むべき本はローマ書であることに同意します。簡単な内容ではありませんが、始めるには、価値があります。

私はローマ書を広範囲に教えてきましたが、一度も疲れると感じたことはありません。それを教え終わった後、こう言えばよかったのにとか、多くのことを話し残した、あるいは、自分が知っていることに気づいていなかったことを発見したりしています。とにかく、新生児クリスチャンは神のことばのミルクが必要です。誰かが生まれ変わりを経験し、私がある人に関わるとき、私が最初に言うことは、「あなたには聖書が必要です。定期的に読んでください。」です。日曜日だけでなく、毎朝、毎晩読んでくださいと言いたいです。そうすれば、あなたは成長します。

次に、あなたが読んでいる聖書をもって、祈ることを学び始めます。あなたが聖書を読むとき、神はあなたに語りかけてくれます。あなたが祈るとき、それは神に話しかけることです。ですから、もし聖書を読むことに祈りを加えるなら、あなたは神と双方向の交わりを持つことになります。

そして3つ目に私が人々に言うことは、信仰を告白することです。イエスを信じていることを人々に知らせてください。街角に立って説教する必要はありませんが、何らかの方法であなたがイエスを信じていることを人々に伝える機会に向き合っていることを神が見ることができるようにしてください。あなたが信仰を告白しないなら、信仰はしぼみます。信仰は告白されなければなりません。

そして4つ目は、他のクリスチャンとの交わりです。クリスチャンは一人だけではうまくいきません。他の人を必要とし、神のことばが定期的に宣言される場所にいる必要があります。他のクリスチャンたちと礼拝する機会が必要です。

では、少し要約して復習しましょう。みなさんの多くが、誰かをキリストに導く特権にあずかっていたり、これからその特権にあずかる人もいます。人々に植えつける必要のある4つのものをお勧めします。聖書を読む、祈る。それは神と話すことで、宗教的な言葉ではなく、シンプルに、自分の信仰を告白する、クリスチャンの交わりを求める、です。私は常に、聖書を読むことを最初に持ってきます。なぜなら、あなたが聖書を知性で読むなら、それはあなたを他のものに向けさせるからです。

次に人が必要とする食物ですが、少なくとも中東での一般的な食べ物はパンです。聖書も、パンを与えます。少なくとも中東では、と言ったのは、ある文化ではそれがパンではないかもしれませんが、パンに相当する物です。そして、イエスがご自身のミニストリーを始められたとき、サタンはイエスに、パンを石に変える奇跡を行なうように誘惑しました。そしてイエスは、それをしませんでした。これが、マタイ4:4で言われているイエスの答えです。

『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる』(申命記にあります)」と書いてあ

る。」

イエスが言わんとしていることは、パンとは、靈的には神のことばであるということです。それを人の日常食で一番基本的な物であるパンに例えているのです。世界の多くの地域では、人々は他の食物を得る余裕はあまりありませんが、通常パンを主食としているところでは、人々がまず最初に必要とするのがパンです。イエスは神の口から出る一つ一つのことばと言っています。それは一種の生きた関係です。ご存知のように、それは単に本を読むことではなく、神がその本を通してあなたに語ってくださることを聞くことです。多くの人が、神は、私たちが聞く必要があるものを知っておられると証言できるでしょう。妻と私は通常、毎朝、何かを始める前に聖書を読みます。人々との仕事で忙しくなる前に神から聞きたいのです。そして、通常、聖書を一緒に読んでその日を終わります。その日読んだ特定の箇所が、その日のために私たちが知る必要があります、その日にそれが起こったということは数え切れないほどありました。それは、焼き立てのパンのようです。ご存知のように、パンを長い間放っておくと、乾いたり腐ったりします。ですから、神のことばを干からびさせたり腐らせたりしないでください。毎日神の口から出る焼き立てのパンを常に食べてください。

聖書が固い食物と言っている、靈的な栄養のさらに次の段階があります。ヘブル人への手紙で、著者はそれについて語っています。ヘブル5:12-14です。そのヘブル人たちは、イエスを信じるユダヤ人信者であったことを理解しておく必要があります。彼らは何世代もの間旧約聖書のみことばを知っていたので、当時他の誰よりも有利でした。当時どの国も知らなかった神についての知識を持っていました。そして、ヘブル書の著者は、その人々が幼い時からみことばを学んできたというその代えがたい価値を持っていたために、それらのユダヤ人信者たちを非難しています。あなたは他の国々や他の人々の教師となる立場であるべきだ。しかし、実際には、それができないほど、あなた方は神のことばにあまりにも怠慢であったからだ。あなたがたは、まるで生まれたばかりの赤ちゃんのようで、ミルクを必要としている。あなた方はパンを食べる段階までさえも来ていないと。

この聖句を読んでさらに説明しましょう。ヘブル 5:12 です。

「あなたがたは年数からすれば教師になっていなければならないにもかかわらず、神のことばの初歩をもう一度だれかに教えてもらう必要があるのです。あなたがたは堅い食物ではなく、乳を必要とするようになっています。」

これは、少なくとも欧米世界のイギリスやアメリカ、スカンジナビアのような、何世紀も聖書を持っていた国々の何百万人ものクリスチャンの描写であるのではないかと思います。私たちは今日、一世紀のユダヤ人信者たちの立場に置かれています。これは、今このメッセージを聞いている人全員に必ずしも当てはまるのではないでしょうが、ミルクだけ、あるいはパンだけで生きないで、十分な栄養を摂ることができる時点で成長し、成熟する責任があります。ですから、ヘブル書の著者は13節でこう続けています。

「まだ乳ばかり飲んでいるような者はみな、義の教えに通じてはいません。幼子なのです。」

ですから、あなたの靈的レベルの発展は、あなたがクリスチャンになって何年経っているかで決まるのではなく、摂ることのできる食物の種類によって決まります。あなたはクリスチャンになって10年経っているかもしれませんが、もし、今もミルクだけであるなら、靈的には赤ちゃんです。あなたの問題は、発育不良で、まったく成長していません。

そして、ヘブル書の著者は、どのように成長できるかを説明しています。14節でこう言っています。

「しかし、堅い食物はおとなの物であって、経験によって良い物と悪い物とを見分ける感覚を訓練された人たちの物です。」

どのように成長し、どのように成熟しますか。それは、実行、聖書を定期的に読むこと、日々直面する状況に適用することです。なぜなら、聖書はあらゆる状況に光を投げかけます。ですから、もしあなたが本当に聖書に生きているなら、新しい状況や問題が起こるとき、あなたは理解できます。それが何であるかを理解し、対処方法がわかっています。そして、それへの対処方法を知れば知るほど、あなたはさらに経験を踏んだ者となります。

また、こう言わなければなりません。いわゆる欧米のクリスチャンについてですが、彼らがどれほど簡単に馬鹿にされるかを見ると、嘆いてしまいます。私は、神の民につけ込んだ、神の民を欺いたミニストリーの上手に宣伝した例を見てきました。神の民はそうに騙されないようにしなければならないのですが、問題は、彼らが良い物と悪い物を見分けるための訓練された識別力を持っていないことです。彼らは、何でもただ飲み込んでしまいます。もし、説教者がかなりの大声で叫び、かなり騒がしくしたら、彼らは、それは神に違いないと考えます。私は叫ぶことに反対しているわけではありません。聖書には叫んでいるケースが多くあります。私は、聖霊は人をたたかないことを発見しました。もしあなたが、圧力をかけられているなら、立ち止まって、チェックしてください。おそらく、それは聖霊ではありません。あなたがロック音楽に対してどう思っているか、私にはわかりませんが、私にとっては不快なものです。私はただ、自分の感覚がそのような中に囲まれ続けたくないのです。聖霊はそうに私たちを取り扱わないと信じます。言うことが分かりますか。あなたは敏感でなければなりません。聖霊に対して敏感さを養ってください。あなたが神のことばに動かされて生きれば生きるほど、さらに識別力を持つようになるでしょう。そして、人々はあなたを馬鹿にしたり、だましたりすることができなくなります。それは、クリスチャンの成長のために絶対に不可欠です。そして、成長の方法は、あなたが固い食物を食べる時点まで進展させることです。

続けましょう。私がお話したい神のことばの次の働きは、精神的な光と私が呼ぶものです。たくさん聖句がありますが、詩篇 119 篇だけを取り上げましょう。ご存知のように、これは一番長い詩篇です。そして、その詩篇のすべての節が神のことばを表現したフレーズを含んでいます。およそ8つの異なるフレーズがありますが、それを含まない節は詩篇 119には一つもありません。詩篇 119:130 はこのようにいい、それは神に対してです。

「みことばの戸が開くと、光が差し込み、わきまえのない者に悟りを与えます。」

これは、神のことばが私たちの思いの領域に行なうことについて語っています。神のことばは、光と悟りを与えます。さて、私はケニヤでアフリカ人教師のための師範学校の校長を5年間していました。そして、私は、人々をどう教育するかという全体的テーマに直面していました。私は学生たちに、あなたは教育があっても愚かでありうると言い続けました。教育は知恵ではありません。私は教育に反対しているのではなく、教育は重要で、不可欠です。私が学生たちに言っていたことは、世界の問題のほとんどは、教養のある愚かな者たちによるということです。それをよく考えれば考えるほど、それがどれほど真理であるかがわかるようになるでしょう。もし、彼らに教養がなければ、それほど大きな問題を引き起こすことはできないでしょう。

20世紀初頭、アメリカの大統領がものを盗む人について語っていたことがありました。彼は、教養のない人は、線路上の鉄道の車両を一つ盗もうとするだろう。しかし、その同じ人が教育されたら、全車両を盗むだろうと言いました。

ですから、教育は光ではありません。私自身高い教育を受け、まったくの暗闇にいたので、それがわかるのです。私は、自分がどこから来て、どこへ行くのか知りませんでした。私は、人生で正しい道を見つける方法を知りませんでした。しかし、試験で、それらについて記述する問題では、良い点数を取りました。私は教養はありましたが、暗闇にいました。そして、それは多くの人々の状態です。教養がありながら愚か、教養があるけれど、人生を通して正しい道を作る方法を知りません。無教育の人々の数と同じくらい、教養がありながら、道徳や心身の問題に陥ってしまう多くの人々がいることに気づくでしょう。フランス人作家はかつて、老人の医者を見つける以上に、老人の飲んだくれを見つけるだろうと言いました。ですから、教養があるということ自体が、良い人生、本当の成功を保証するものではないというのが事実です。神のことは光としてやって来ます。私たちがどこにいるかを示してくれます。神のことは、私たちの本当の問題を示し、その答えを示してくれます。

ご存知のように、自然界では光の代わりになるものはありません。この世界の他の何物も、光が行なうことをすることはできません。再び、アフリカの学生たちのことですが、私はそのことを彼らに印象付けようと思いました。ですから、講堂で授業をしていた時、もし、この講堂が真っ暗になったら、どのように暗闇を抜け出すかと聞きました。私は、「すべてのドアと窓を開けて、風を入れ、暗闇を追い出すべきでしょうか。」と聞きました。彼らは、「いいえ」と言いました。そこで私は、「何本かのほうきをみんなに持ってこさせて、暗闇を掃き出すべきでしょうか。」と言いました。彼らは、もちろん、「違う」と言いました。そこで私は、「ではどうしたら暗闇を追い出すことができるか。」と聞きました。すると、ある生徒が電気をつけると言いました。その通りです。光が来ると、暗闇はもう存在しません。あなたの心と思いを神のことに開くことは、あなたの思いに光のスイッチを入れることです。あなたが誰であるかがわかるようになり、あなたの問題の本質がわかるようになります。

そのように、私は人生の意味を少なくとも15年も探し求めていました。しかし、私が持っていたような教養は、それを示してくれませんでした。しかし、聖書の光が差し込んで来たとき、私が本当に必要としていたもの、人生を意義深く、また成功させるものを理解し始めたのです。そして、先ほどの聖句は、わきまのない者に悟りを与えようと言っています。(英語では、単純な者です)。単純という言葉は、今日むしろ軽蔑される言葉です。単純であるために、いろいろ言われます。複雑にしないでください。もし、あなたがとても複雑なら、解決を見つけ出したかどうかを決して知ることはありません。しかし、あなたが単純であるなら、もしあなたが初歩的であるなら、あなたは、幸せがほしい、愛がほしいと言います。私は、あなたに最高の生き方を知ってほしいと願います。深く考えすぎないでください。私が学んだ哲学者のことを思い出します。私は、ドイツ人哲学者インマヌエル・カントが書いた、ピリオドが打たれるまで2ページ以上にわたって書かれた一文のことを考えるとまったく身震います。聖書は完全に異なっていることに気づいていきますか。聖書は、最も短い言葉で、最もすごいことを語っています。

私がアフリカにいるとき、1週間毎朝教会でアフリカ人に語ってくださいと招かれました。私は、何を語るべきか悩みました。そして、ある朝、私は I ペテロ 2:24 から話すことに決めました。

「そして自分から十字架の上で、私たちの罪をその身に負われました。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるためです。」

私にとって、これは最も深い考えです。それはまさに、福音の中心です。ですから、私は車を運転しながら、今から私が語る人々は読み書きができない人が大部分だと思い始めました。おそらく、このメッセージは彼らには深すぎるだろうと。すると、主は聖霊によって私にその節の中の、一音節の言葉の数を数えなさいと言いました。英語の単語でのお話をしますが、私がそれを数えると、その節には、23 節の単語があり、19 のことばが一音節で、3つの単語が二音節で、1つの単語が三音節でした。それは、達成することのできる中で最も深い真理です。しかし、それは単純な言葉で述べられているのです。あなたが複雑になりすぎるなら、あなたは自分が真理を語っているのかどうかよくわからなくなり、愚かになりうるのです。しかし、あなたが単純になるとき、あなたが本当に取り扱っているものが何であるかを知ることになります。

あなたが神のもとへ来るとき、単純(シンプル)になることをお勧めします。正直になってください。あなたの心をさらけ出し、あなたの本当の問題を神に話してください。何も覆い隠さず、神のことばがあなたに必要な理解を与えてくださるようにしてください。

続けましょう。次の結果は、おそらく私がじっくり時間をかけることになると思うもので、箴言からですが、まず詩篇107篇を開きましょう。それは、神がご自身のことばを通してあなたのからだになされることです。詩篇 107:17-20 までを読みます。

「愚か者は、自分のそむきの道のため、また、その咎のために悩んだ。彼らのたましいは、あらゆる食物を忌みきらい、彼らは死の門にまで着いていた。」

言い換えれば、愚か者たちは死に瀕していました。彼らは、あらゆる治療をしましたが、ついに、これ以上何もできることはありません。19節はこう言っています。

「この苦しみのときに、彼らが主に向かって叫ぶと、主は彼らを苦悩から救われた。」

これに対する私の考えは、ある人々は祈ることを手遅れになるまで放っておくということです。彼らは道の行き止まりまで来て、死の淵まで来て、手の施しようがなくなって、ようやく主に叫ぶのです。しかし、神はあわれみ深く、なおもそのような人々に耳を傾けてくださいます。20節に神の応答が見られます。

「主はみことばを送って彼らをいやし、その滅びの穴から彼らを助け出された。」

神は、どのように彼らの癒しを求める叫びに応えましたか、神は何を送りましたか。みことばです。神のことばを通し彼らの肉体的な癒しがなされたことを、あなたは理解していますね。19節、20節を見ると、神は彼らを救い、彼らをいやし、彼らを助け出しました。それらは、神の憐れみの3つの偉大な働きです。神は罪から救い、病をいやし、サタンから解放してくださいます。神は、それをするために何を用いますか。何を送りますか。神のことばを送り、救

い、癒し、解放するのです。

みなさんの中に、からだの問題を抱えている人がいると思います。今、祈ってほしいと思っておられるかもしれません。神が、今、あなたのところに来ています。神はみことばを送っています。それを受け入れるなら、あなたはこのメッセージを聞き終えたとき、癒されます、なぜなら、神のことばがあなたのところに来ているからです。

では、からだのいやしについての別の素晴らしい聖句を開きましょう。箴言 4:20-22 です。

「わが子よ。私のことばをよく聞け。私の言うことに耳を傾けよ。それをあなたの目から離さず、あなたの心のうちに保て。」

神はご自身のことばについて言っています。そして、22節でこう言っています。

「見いだす者には、それはいのちとなり、その全身を健やかにする。」

全身とは、どういう意味でしょうか。それは、私たちのからだ全体です。ですから、神のことばを私たちが見出すなら、私たちはいのちと、全身の健康をもたらすと神は言っています。

そして、健康という単語のために多くの聖書で使われていることばが、薬です。ですから、神は私たちの全身のために薬や健康を与えてくださいます。神はどのようなそれを与えてくださいますか。みことばを通して、また、神が言われることを通してです。

これは、私が一年間の入院の末、退院させてくれた箇所です。医者が治癒できないと判断したとき、自分で聖書を学び、推測しました。なぜなら、私は哲学者であったために、特別な問題があったのです。このように、癒しについて読むたびに私は、「そうです！」と言いましたが、それは単に私のたましいの癒しを意味しているのであって、神は私のからだには関心がないのだと。しかし、箴言 4:22 に出会ったとき、全身を健やかにすると言っており、哲学者であっても、からだ(肉)を、たましいや霊を意味させることはできないのだと自分に言いかせました。それで、私はそのように受け取ろうと思いました。そして、私は薬としてみことばを摂ることに決めました。私は、看護兵だったので、薬の服用方法を知っていました。私は、神のことばを薬として服用しようと決めましたが、人はどのように薬を服用するのかを考えました。通常の答えは、食後3回です。

これは、単純であることのたとえです。お分かりですか。私は、頭は良かったのに、病気でありえたのです。しかし、私が単純になり、癒されました。ですから、私は、毎日3回食後に薬として神のことばを服用することに決めました。そして、毎食後、私は一人になって、聖書を開き、頭を垂れて言いました。「神さま、あなたはあなたのこれらのことばが私を、私の全身を健やかにするため、薬だと言われました。私は、今、イエスの御名によって私の薬としてみことばを取ります。」私は奇跡を受け取ったものではありません。私がいたスーダン、最も体によくはない気候でした。そして、その最悪な気候の中で、神のことばが、私に完全で永久的な健康をもたらしたのです。